

2R (Reduce,Reuse) の普及を目的とした市民向け茶会(2R茶会)の実施と成果について

第29回廃棄物資源循環学会年研究発表会
堀 孝弘 発表

発表概要

- 事業の推進主体と事業の背景
- 事業目的と本報告の課題
- 実施内容
- 成果と今後について

1. 事業の推進主体と事業の背景

- ペットボトル飲料(特に緑茶飲料)の増加
→ リーフ茶利用の激減 // 2
→ ペットボトル緑茶しか知らない人の増加 // 3
 - ペットボトルリサイクルは社会に根付いたが、近年、以下のことが起きている
→ 各地の川ごみ調査で、チャンピオンはペットボトル 4
→ 川ごみを通じてつながる海ごみ問題 5
→ 国内回収したペットボトルの4割以上が海外に輸出 6
→ 中国の廃プラ禁輸 7
→ 世界の脱使い捨てプラの動き 8
- 「リサイクル」が大きく揺れている。

1. 事業の推進主体と事業の背景

京都市ごみ減量推進会議
1996年に設立 会員500団体超



名前に「京都市」を冠しているが、京都市直接の団体ではなく、市内の様々な団体とつくる協働組織。



事業推進のため、4つの実行委員会があり、その1つに**2R型エコタウン構築実行委員会**(委員長、浅利美鈴京都大学准教授)がある。

同実行委では、特にペットボトルのリデュース意識や行動の普及を目的として、2016年秋から「リーフ茶の普及で、ペットボトルを減らそうキャンペーン」に取り組んでいる。

リーフ茶とは茶葉から淹れる茶のことであることで茶種は問わない。

2

2. 事業目的と本報告の課題

本プロジェクトの目的。リデュースを意識した行動の普及。
関心層、大学生、無関心層に対し、下表に示す働きかけを行っている。
京都市ごみ減量推進会議「リーフ茶の普及で、ペットボトルを減らそうキャンペーン」の主な事業
(2017年度開催分)

事業名	概要	実施回数	対象者	参加者数	主な成果
ペットボトルを減らそうリレートーク	連続講座「海ごみから考える私たちの暮らしとプラスチック」の開催(大手合うドア用品メーカー・バタゴニアと共に)	3回	一般市民(環境問題への関心の高い層)	130人	共催パートナーのバタゴニアだけでなく、講師や参加者など、海ごみ、脱プラスチックなどで活動する様々な個人・団体との連携が生まれた。
リーフ茶大学講義	ペットボトルリサイクルや、リーフ茶の現状などを、ゲスト講師として招かれた大学の講義(90分)で伝える。	8クラス(5大学)	大学生(主に1~2回生。環境系講座とは限らない。)	925人(アンケート提出者)	講義前アンケートで「ペットボトル飲料をよく利用する」との回答が約4割あったが、講義後は1割未満になった。学生へのリデュース意識の普及は可能。
2R茶会	「おいしいお茶の淹れ方講習」と、2Rに関する情報提供を合わせた茶会の開催	7回	観光客やイベントの参加者(ごみ問題への無関心層を含む)	317人(アンケート提出者)	前年度から継続して実施。実施内容をほぼ固定できた。京都府(宇治茶ムリエ講座)や和束町(産地訪問)など茶産地や、京都市上下水道局との協力関係が生まれた。

京都市ごみ減量推進会議事務局

2. 事業目的と本報告の課題

無関心層への働きかけは重要。ごみ問題への関心の低下

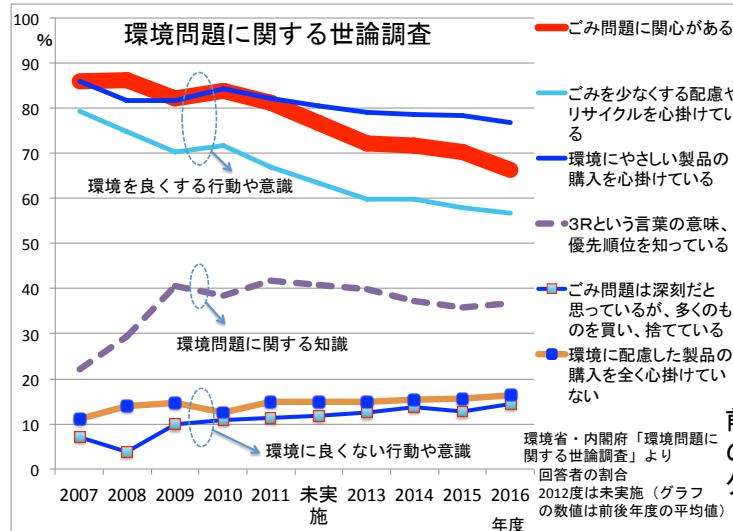


わかりにくいので、次ページでグラフにして示します。

上表の出所 環境省「平成28年版 環境・循環型社会・生物多様性白書」
第2部 第3章 循環型社会の形成 第1節 循環型社会の形成に向けて より

2. 事業目的と本報告の課題

無関心層への働きかけは重要。ごみ問題への関心の低下



2. 事業目的と本報告の課題

無関心層への働きかけを担うのが「2R茶会」。

「リーフ茶の普及」を取り上げた理由は、主に以下の3つ

- 1 ペットボトル飲料の中で、近年緑茶飲料とミネラルウォーターの消費が大きく伸びている。
- 2 京都という土地柄を考慮して、様々な立場の個人や主体から協力が得られることが期待できる。
- 3 身近な代替手段であり、より上質な暮らしや、支出抑制の提案ともつなげやすい。

本報告では「2R茶会」の実践内容と無関心層に向けた成果について報告し、ペットボトルのリデュース意識普及の可能性についても言及する。

3. 実施内容

無関心層への働きかけ

→人を集めのではなく、人のいるところに出向く

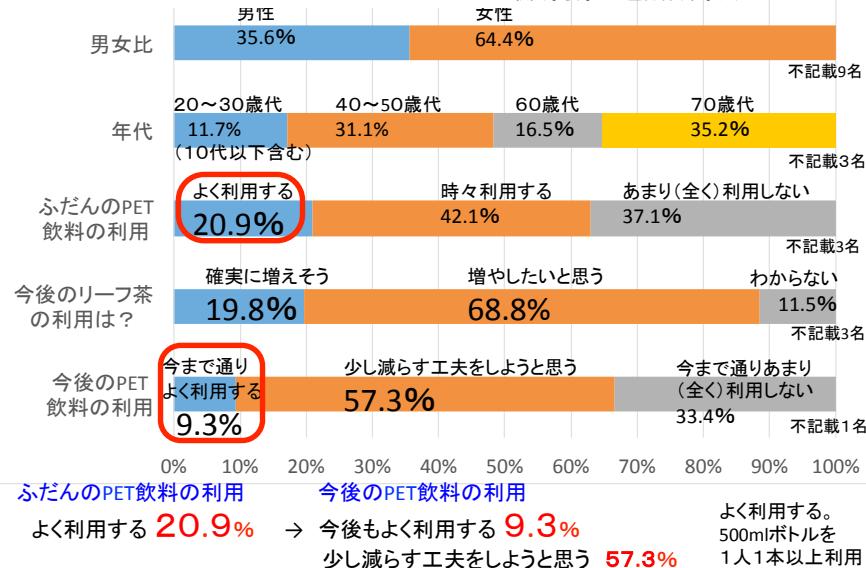
しかし、「イベント出展+啓発物品の配布」だけでは、効果不明の取組になってしまふ。

伝えるべきメッセージが伝わり、意識・行動への反映が期待できる取組が必要。

日本茶インストラクターの協力を得て、「本物のお茶の味」を体験してもらい、その後に「2R情報」を伝える。

「おいしいお茶の淹れ方講習」に、15~20分
「ごみ減からのメッセージ(2R情報)」に、5分 計20~25分

4. 成果と今後について 2018年度の「2R茶会」の成果



4. 成果と今後について 様々な団体との協働

茶産地・茶業関係者との協働

茶産地訪問(和束町、町長の講演)
宇治市、静岡市とのイベント共催
京都府との講座開催(宇治茶ムリエ)
日本茶インストラクターとの協働
茶文化とつながりの深い寺院の協力

京都市ごみ減
リーフ茶の普及で、
ペットボトルを減らそう
キャンペーン

大学との協働

ゲスト講師として出講
教員等向けイベント開催

他の活動団体との協働

祇園祭ごみゼロ大作戦との
協働(2018)

水道事業者との協働

浄水場等の一般公開でイベント開催

海ごみ、川ごみ、脱プラに取り組む団体や研究者との協働

関西広域連合の研究会参加
「海ごみ」「脱プラ」をテーマにした講座
アウトドア用品メーカーとの共催¹⁰

4. 成果と今後について 「2R茶会」

年間1,000人以上の参加(2017年度・大学除く)

- 人を集めのではなく、人のいるところに出向く。
観光地、イベント会場、大学(925人受講)など

ペットボトル飲料のリデュース意識の向上

- 「おいしいお茶の淹れ方講習」と合わせることで、
緑茶とペットボトル飲料、リサイクルの現状などに
関する情報への関心・受容性が高まった。

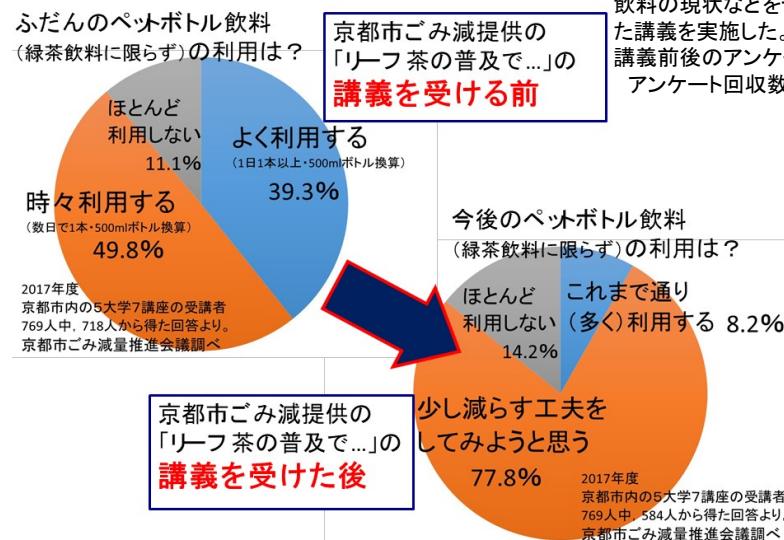
協働の広がり

- 文化、地域振興との関係づけの他、海ごみ、リサイ
クルの行き詰まりなどの問題に関心が高まる。

今後

2018年度も継続。地域住民を対象に

参考 大学生向け活動の成果 (リデュース意識)



2017年度 京都市内の5大学8クラスにゲスト講師として出講し、リーフ茶やペットボトル飲料の現状などをテーマにした講義を実施した。以下は講義前後のアンケート結果。
アンケート回収数925

ご清聴ありがとうございました。

担当 堀 孝弘

京都市ごみ減量推進会議 事務局

Tel 075-647-3444 Fax 075-641-2971

〒612-0031

京都市伏見区深草池ノ内13 京エコロジーセンター活動支援室内

ごみ減ウェブサイト <http://kyoto-gomigen.jp/>

リーフ茶の普及で、ペットボトルを減らそうキャンペーンサイト
<http://kyoto-leaftea.net/>

連絡先 hori@kyoto-gomigen.jp

堀個人ブログ【環境活動・環境教育・役立情報】

～見落としがちな、あんなこと、こんなこと～

<http://horitakahiro.sakura.ne.jp/>



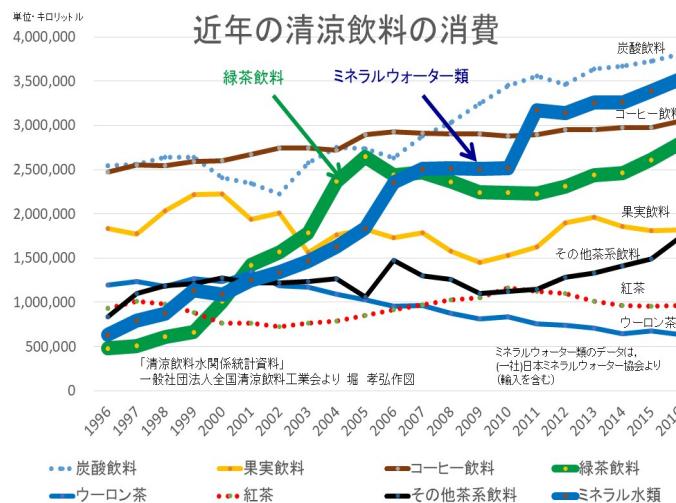
以下は参考情報

参考情報

- 1 ペットボトル緑茶飲料の増加
- 2 リーフ茶利用の激減
- 3 ペットボトル緑茶しか知らない人の増加
- 4 各地の川ごみ調査で、チャンピオンはペットボトル
- 5 川ごみを通じてつながる海ごみ問題
- 6 国内回収したペットボトルの4割以上が海外に輸出
- 7 中国の廃プラ禁輸
- 8 世界の脱使い捨てプラの動き
- 9 ペットボトルの環境負荷の大きさ

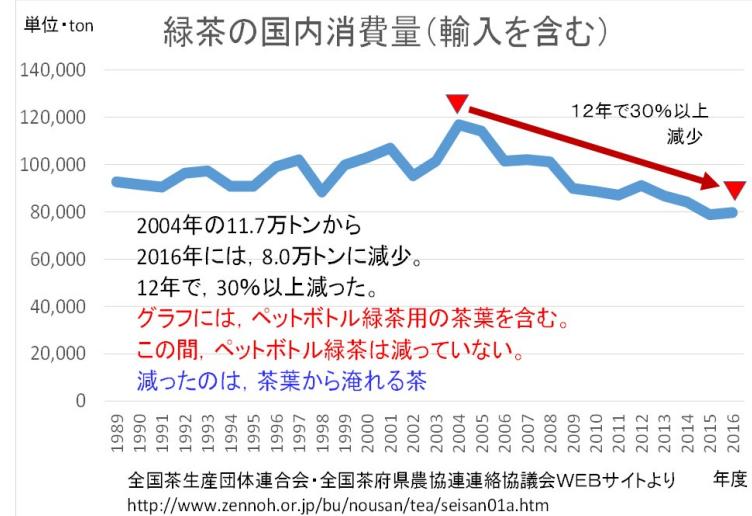
参考情報1

清涼飲料で、近年特に増えたのは、
ミネラルウォーターと緑茶飲料



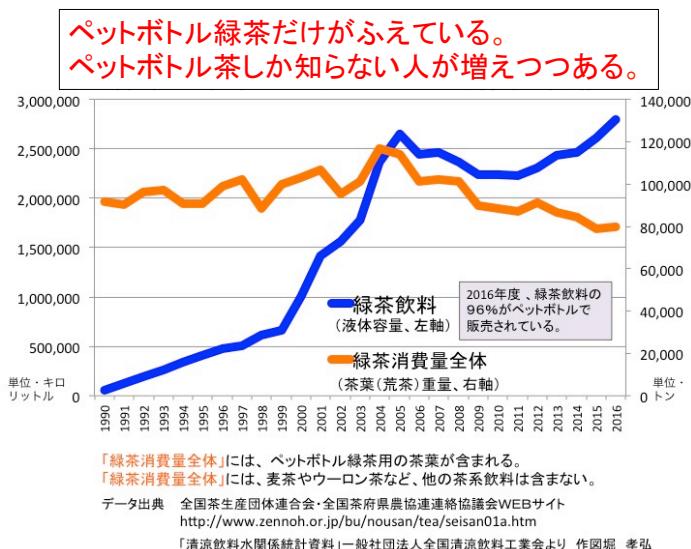
参考情報2

近年、緑茶・茶葉の生産・消費が急減



参考情報3

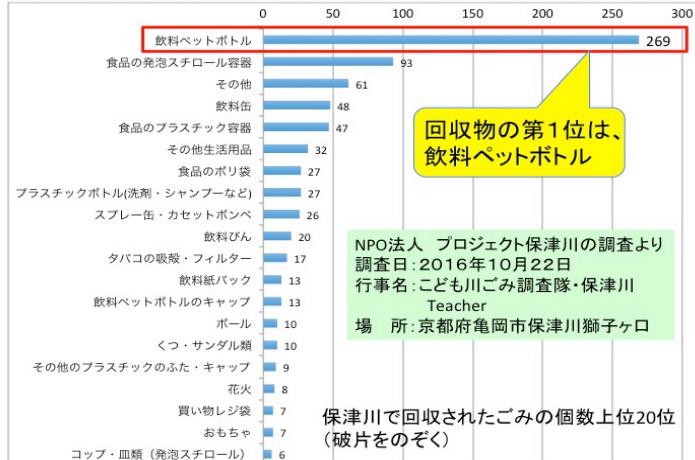
茶葉の利用減と、ペットボトル緑茶の消費増



参考情報4

まだまだ多い放置ペットボトル

京都府亀岡市保津川水系で回収された放置ごみ



参考情報4

放置ペットボトルの多さは、 保津川に限ったことではない

東京の荒川河口から3km上流



写真提供
NPO法人荒川クリーンエイド・
フォーラム
事務局 東京都江戸川区

同NPOの調査では、
8年連続で、最も多い
ごみはペットボトル

全国川ごみネットワー
クの調査でも、ペット
ボトルごみは、常に
上位。

海岸への漂着ごみ
でも、韓国、中国から
流れてくるものだけ
なく、国内から流出
しているペットボトルが
かなり多い。

参考情報5

川ごみは、やがて海ごみに 今、海ごみによる海洋汚染に世界が注目

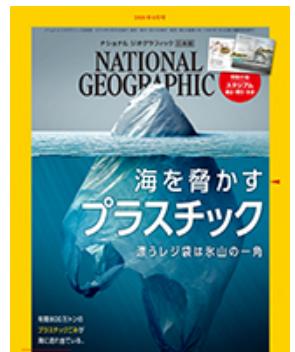
世界の海に、5兆個のプラスチック
ごみが漂流

太平洋には、日本列島の数倍の
「ごみの島」が漂流している。

2050年には、世界の海の魚より、
プラスチックの方が多くなる。(重量で)

海鳥の90%がプラスチックごみを
摂食しているとの説もある。

National Geographicは
この問題を特集

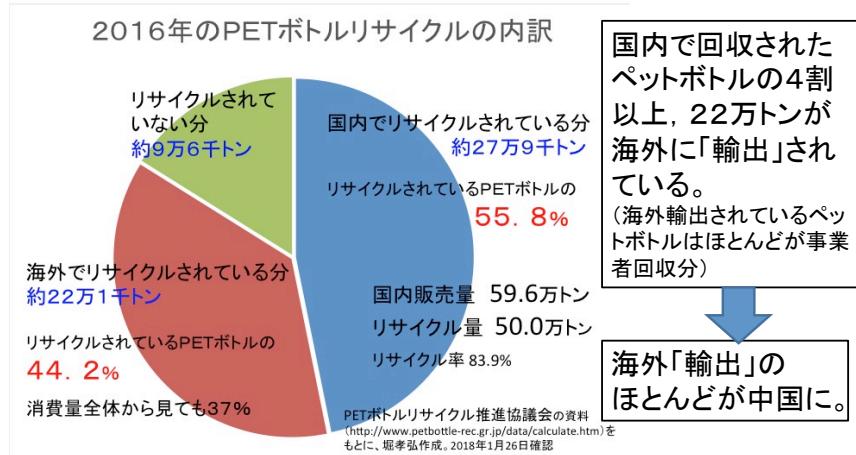


廃棄物資源循環学会誌の最新号
も、海ごみ、プラごみを特集。

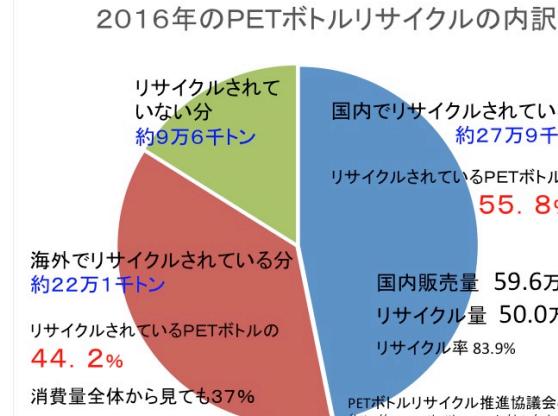
参考情報6

国内回収したペットボトルの4割以上が海外に輸出

すでに国内でリサイクルできる量をはるかに上回って回収されている。



参考情報7



いつまでも続けられないごみ輸出
2017年7月、中国政府は同年末をもって、海外からの廃プラスチックの輸入を禁止すると発表。



日本国内、海外で大変な状況になっている。

2018年6月にはタイが海外からの廃棄物輸入禁止を発表

2018年1月、この処置は実行された。



ペットボトルごみがついに限界!?～世界に広がる“中国ショック”～ - NHK クローズアップ現代+

2018年5月9日(水)放送。いま、日本各地で行き場を失ったプラスチックごみが山積みになっている。今年1月、中国政府は突然、これまで世界中から受け入れていた資源ごみ

NHK「クローズアップ現代+」
5月9日放送ウェブ予告より

参考情報8

世界は、脱使い捨てプラスチックへ

最近のニュースより

レジ袋の有料化や禁止は、西欧だけでなく、アジア・アフリカ諸国にも広がっている。

フランス 2016年8月

プラスチック製使い捨て食器の禁止に関する政令を公布(2020年施行)

イギリス 2018年5月

使い捨てプラスチック「全面禁止」へ、海洋ごみを撲滅
「プラスチックごみはイギリスが直面する最大の環境問題の1つである」メイ首相

G7 2018年6月

カナダサミットで「海洋プラスチック憲章」 日米は署名せず。

2030年までにすべてのプラスチックを再利用や回収可能なものにすることを目指す

台湾 2018年2月

使い捨てプラスチック製品を2030年までに全面禁止

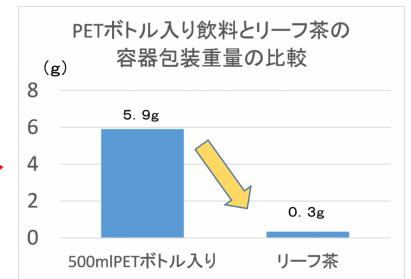
韓国 2005年以降

1回用品(使い捨て用品)規制

参考情報9

環境負荷の大きさ ごみ問題 地球温暖化への影響

- 500mlのペットボトル入りのお茶からリーフ茶にすることで、平均90%以上の容器包装ごみを減らせる。 5.9gから0.3gへ



- リーフ茶から淹れて飲む場合、2Lのペットボトル入りのお茶を購入して飲む場合と比較してCO2発生量は、約3分の1になる。

- リーフ茶から淹れてマイボトルで持ち運んで飲む場合、500mlのペットボトル入りのお茶を自動販売機で買って飲む場合と比べて、CO2発生量は約4分の1に減る。

京都府立大学山川肇教授研究室より